

2024年度事業報告

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

I. 概況

1. 全体景況

政府発表によれば、2024年度（令和6年度）の我が国経済は、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にある。

こうした中、政府は、賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済を実現し、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を確実なものとするため、日本経済・地方経済の成長、物価高の克服及び国民の安心・安全の確保を三つの柱とする「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」（令和6年11月22日閣議決定。以下「総合経済対策」という。）を策定した。その裏付けとなる令和6年度補正予算を迅速かつ着実に執行し、総合経済対策の効果を広く波及させていく。

令和6年度の我が国経済は、緩やかな回復を続け、実質国内総生産（実質GDP）成長率は0.4%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は2.9%程度、消費者物価（総合）は2.5%程度の上昇率になると見込まれる。

（出典：令和7年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度、令和6年12月25日閣議了解）

2. 鑄造業界の動向

- （1）鑄造業の2024年の生産金額（ダイカストを除く）は、1兆3,595億円に対前年比4.6%減、生産量は360万トンで同7.2%減となり、金額、生産量とも減少となった。
- （2）代表業種である鋳鉄鑄物の生産金額は、8,022億円、同6.2%減と4年連続で8千億円を上回った。生産量は287万トン、同7.4%減となり、金額は減少に転じ、生産量は3年連続の減少となった。鑄鋼は生産金額が915億円、同13.2%減、生産量が171千トン、同11.2%減と、金額、重量ともに減少した。
- （3）非鉄金属鑄物（ダイカストを除く）は、銅合金鑄物の生産金額が1,065億円、同7.1%増と4年連続増加、生産量は57千トン、同0.1%増となったが5年連続で6万トンを下回った。また、アルミニウム鑄物は2,867億円、同4.3%減、生産量は364千トン、同6.9%減と金額、生産量とも減少した。この結果、2024年の全生産金額（ダイカストを含む）に占める非鉄鑄物比率は、56.5%となり、10年連続して50%を超えている。

表１． 鋳造品の生産額推移

単位：億円、（ ）：対前年比％

年	鋳鉄鋳物	鋳 鋼	銅合金	アルミ鋳物	精密鋳造品	ダイカスト
2000	9,055 (102.1)	1,377 (109.7)	700 (99.5)	2,888 (103.2)	471 (117.4)	4,655 (106.3)
2005	9,130 (107.5)	1,434 (117.2)	823 (98.7)	2,791 (107.3)	463 (105.5)	6,000 (108.9)
2010	8,509 (125.7)	1,367 (103.0)	958 (114.1)	2,631 (126.9)	514 (118.4)	5,765 (130.0)
2015	8,198 (97.8)	1,183 (98.6)	966 (101.5)	2,850 (101.0)	539 (95.4)	5,848 (99.6)
2016	7,489 (91.4)	1,177 (99.5)	894 (92.5)	2,812 (98.7)	483 (89.6)	5,746 (98.3)
2017	7,841 (104.7)	1,331 (113.1)	892 (99.7)	2,968 (105.3)	472 (97.7)	6,103 (106.2)
2018	8,268 (105.4)	1,443 (108.4)	948 (106.3)	3,129 (105.4)	489 (103.6)	6,409 (105.0)
2019	8,026 (97.1)	1,352 (93.7)	885 (93.4)	2,968 (94.9)	450 (92.0)	6,235 (97.3)
2020	6,010 (74.9)	1,217 (90.0)	712 (80.5)	2,356 (79.4)	461 (102.4)	5,245 (84.1)
2021	7,940 (132.1)	1,096 (90.1)	851 (119.5)	2,616 (111.0)	520 (112.8)	6,068 (115.7)
2022	8,361 (105.3)	1,129 (103.0)	961 (112.9)	2,783 (106.4)	570 (109.7)	6,477 (106.8)
2023	8,553 (102.3)	1,054 (93.3)	995 (103.6)	2,994 (107.6)	649 (113.9)	7,179 (110.8)
2024	8,022 (93.8)	915 (86.8)	1,065 (107.1)	2,867 (95.7)	726 (111.9)	6,935 (96.6)

注：鋳鉄鋳物には、鋳鉄管、可鍛鋳鉄を含む。

表２． 鉄鋳物の生産量推移

単位：千トン、（ ）：対前年比％

年	合 計	鋳鉄鋳物	鋳鉄管	可鍛鋳鉄	鋳 鋼
2000	4,941 (104.2)	3,998 (106.2)	580 (91.3)	98 (96.4)	264 (102.6)
2005	5,036 (103.0)	4,299 (104.8)	403 (88.9)	58 (74.8)	277 (107.1)
2010	4,030 (123.9)	3,469 (132.4)	316 (79.1)	39 (104.9)	207 (104.3)
2015	3,929 (96.8)	3,331 (95.7)	398 (110.6)	43 (97.6)	157 (91.1)
2016	3,736 (95.1)	3,237 (97.1)	310 (77.9)	41 (95.3)	150 (95.6)
2017	3,887 (104.0)	3,434 (106.1)	249 (80.3)	42 (102.4)	162 (107.9)
2018	3,967 (102.1)	3,511 (102.2)	249 (100.0)	40 (95.0)	168 (103.6)
2019	3,745 (94.4)	3,323 (94.6)	231 (92.7)	38 (94.9)	153 (91.2)
2020	3,153 (84.2)	2,768 (83.3)	234 (101.3)	29 (77.6)	122 (79.7)
2021	3,557 (112.8)	3,170 (114.5)	224 (95.7)	30 (101.3)	133 (109.0)
2022	3,486 (98.0)	3,115 (98.3)	205 (91.7)	29 (98.4)	137 (103.0)
2023	3,433 (98.5)	3,080 (98.9)	193 (94.0)	29 (98.4)	131 (95.7)
2024	3,179 (92.6)	2,866 (93.0)	171 (88.8)	27 (93.8)	115 (88.1)

表３． 精密鋳造品・非鉄金属鋳物の生産量推移

単位：トン、（ ）：対前年比％

年	精密鋳造品	銅合金	アルミ鋳物	ダイカスト
2000	7,345 (111.4)	87,093 (105.3)	412,824 (104.6)	833,223 (109.4)
2005	7,380 (97.9)	97,794 (92.7)	412,483 (103.7)	1,064,866 (108.1)
2010	5,899 (136.0)	79,293 (105.3)	386,812 (132.5)	980,850 (129.3)
2015	5,824 (86.9)	77,884 (101.0)	418,556 (100.3)	977,481 (97.6)
2016	5,441 (93.4)	77,477 (99.4)	423,646 (101.2)	980,413 (100.3)
2017	5,353 (98.4)	75,387 (97.3)	441,837 (104.3)	1,043,558 (106.4)
2018	5,053 (94.4)	74,559 (98.9)	454,069 (102.8)	1,074,522 (103.0)
2019	4,172 (82.6)	70,963 (95.2)	437,339 (96.3)	1,022,064 (95.1)
2020	3,859 (92.5)	57,019 (80.4)	343,652 (78.6)	839,132 (82.1)
2021	4,713 (122.1)	59,585 (104.5)	374,042 (108.8)	925,287 (110.3)
2022	4,439 (94.2)	58,870 (98.8)	363,861 (97.3)	894,912 (96.7)
2023	4,210 (94.8)	57,440 (97.6)	390,859 (107.4)	961,949 (107.5)
2024	4,070 (96.7)	57,495 (100.1)	363,788 (93.1)	906,801 (94.3)

II. 協会活動の概要

2024 年度は、前年度に引き続き「鑄造産業ビジョン 2017 (2017 年 9 月)」が目指すべき姿を実現するための 6 つのアクションプランに基づき、前年度依然と同様に、①技術開発による商品開発力の向上、②経営基盤強化と健全な取引による事業発展、③同業／異業／地域との積極的な連携による競争力強化、④海外との連携、⑤人材育成の充実、⑥環境・エネルギー対策の強化 に基づく事業計画に従って協会事業活動を推進した。

2024 年度の主な事業活動は次のとおり。

1. 世界的に高まる温室効果ガス削減への動きから、我が国においてもカーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの削減目標が政府より示されている。鑄造業界においてもこの政府目標を達成するため、2021 年度に設置したカーボンニュートラル特別委員会及び WG を開催し、温室効果ガス（主に CO₂）削減の講ずべき対策を検討した。
2. 令和 7 年度予算・税制要望として政府、鑄物産業振興議員連盟（鑄物議連）等に対して、①取引慣行適正化の推進、②安価かつ安定的なエネルギー供給の支援、③鉄スクラップ等の原材料・副資材の安定供給、④中小企業省力化投資補助事業における鑄造関連設備の対象化、⑤外国人材受入れ制度の柔軟な運用、⑥大学等における鑄造分野の技術習得の専門課程の拡充などを要望した。
3. 「未来志向型の取引慣行に向けて」に基づき、素形材産業適正取引に関する自主行動計画を関係 11 業界団体とともに改定するとともに、同自主行動計画に基づく取引適正化への取組みに関するフォローアップ調査を行い、政府へ報告した。また、取引価格適正化では、エネルギー価格並びに物価高騰、労務費や運送費の上昇、設備維持管理費の負担増に対して、2025 年 1 月に会長名文書「健全な取引ならびに安定供給に向けたお願い」を発行し、価格交渉申込シート「鑄造協会標準モデル」ならびに取組事例と併せて提供した。ほかにも、労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針（2023 年 11 月）、下請取引の適正化について（2024 年 11 月通達）を周知徹底し、会員企業の取引慣行適正化を支援した。
4. 経営部会市場調査委員会では、四半期毎に実施している景況調査において、原材料、副資材、エネルギー価格、労務費上昇分の転嫁状況などを収集・確認し、会員企業へのフィードバック並びに各種会合等において調査結果を報告するとともに、政府や鑄物議連等の要望に反映した。
5. 環境分野では、引き続き、環境・エネルギー対策となる CO₂削減に関してのアンケートを実施するとともに、カーボンニュートラル特別委員会および鑄造ジャーナルにおいて調査結果を公表した。他にも 2024 年 12 月には、会員企業への省エネ・CN 情報の提供を目的とした省エネセミナーおよびパネル展示会を開催し、セミナーに 50 名、パネル展示会に 13 社が参加した。

6. 標準化では、2024 年 2 月に納品した「JIS Z 5903 鋳鉄製又は鋳鋼製のショット及びグリット」の改正原案が、JISC 審議の上 2024 年 11 月 20 日に公示された。また、ISO 規格制定の 7 種類の鋳鉄品の内、JIS として未制定の「耐摩耗鋳鉄品」の改正原案作成活動を再開した。さらに、ISO/TC25 国内審議会の活動として第 35 回 ISO/TC25 全体会議に参加し、鋳鉄品の ISO 規格の改正動向の共有等を図った。
7. 国際交流として、9 月のアジア鋳造連盟 (AFA) の総会 (タイ国) に参加するとともに、11 月にタイ鋳造工業視察団 (22 名) を派遣した。また、台湾鋳造学会 (9 月) 及びドイツ鋳造協会 (10 月) の訪日視察団を受け入れた。
8. 将来の鋳物工場の経営者や工場長の育成を目指す人材育成事業「鋳造カレッジ」は、共通 Web 講義を全国的に導入し、関東、東海、関西地区にて開催した。鋳鉄コース 53 名、軽合金コース 5 名、銅合金コース 9 名、合計 67 名が受講し、66 名が修了した。
9. 若手社員を対象とした新人教育研修プログラム「鋳造入門講座 (鋳鉄・アルミニウム鋳物コース)」は、年会 2 回開催した。前期は 4 月～9 月にかけて対面とオンラインの両形式を取り入れ現地研修及び安全体感講習等の実習を加えた計 36 コマのカリキュラムで、55 名でスタート (自己都合による途中辞退 2 名) し 53 名が修了した。後期は 11 月～2025 年 2 月にかけて ZOOM を活用したオンラインのみの形式で現地研修等の実習を除いた計 24 コマのカリキュラムで 52 名が受講し、51 名が修了した。2024 年度までの修了生は累計 876 名となった。
10. 課題解決型専門コースである「鋳造カレッジ上級コース (鋳鉄材料・砂型コース)」は 23 年度の応募者を含めた 17 名の受講生を得て 6 月～2 月にかけて 2 年ぶりに実施し、17 名が修了した。
11. 専門研修としては、現場技術者及び作業者を対象として、鋳造の基礎技術に関する講座「鋳造技術研修会」を、オンライン講義にて実施。「溶解・築炉」(6 月・11 月)、「方案・欠陥」(12 月)、「砂・造型法」(3 月) の延べ 4 日開催し、170 名が受講した。また、3D-CAD 技能研修会を 7 月に実施し 11 名が受講した。
12. 地方組織の活性化を推進するため、東海支部、北陸支部、中国四国支部の 3 支部活動を支援して地域活動を展開した。併せて、島根県鋳造関連産業振興協議会との交流を実施した。
13. 大会事業としては、5 月に社員総会に併せて春季大会 (理事会・協会役員会、協会賞表彰式、鋳造技士認定証授与式、懇親会)、10 月に福岡地区で秋季大会 (理事会・協会役員会、懇親会、講演会、懇親ゴルフ大会) を開催した。また、若手経営者全国大会を 9 月に静岡 (講演会・懇親会・工場見学会) と 2 月に東京 (講演会・懇親会) に於いて開催した。

Ⅲ. 会議に関する事項

1. 会議に関する事項

本会運営上の基本的な事項及び重要案件を審議決定するため、総会 1 回、理事会、正副会長会 5 回、協会役員会 4 回、監事会 1 回をそれぞれ開催し、事業の円滑な推進を図った。

(1) 社員総会開催日程

第 12 回社員総会 2024 年 5 月 23 日（木）機械振興会館

(2) 理事会（①以外は協会役員会と合同開催）

- ① 第 55 回 2024 年 4 月 25 日（木）機械振興会館
- ② 第 56 回 2024 年 5 月 23 日（木）機械振興会館
- ③ 第 57 回 2024 年 10 月 3 日（木）ホテルオークラ福岡
- ④ 第 58 回 2025 年 1 月 24 日（金）東京プリンスホテル
- ⑤ 第 59 回 2025 年 3 月 25 日（火）機械振興会館

(3) 正副会長会

- ① 第 98 回 2024 年 4 月 25 日（木）機械振興会館
- ② 第 99 回 2024 年 7 月 12 日（金）機械振興会館
- ③ 第 100 回 2024 年 9 月 24 日（火）機械振興会館
- ④ 第 101 回 2024 年 12 月 13 日（金）機械振興会館
- ⑤ 第 102 回 2025 年 2 月 26 日（水）機械振興会館

(4) 協会役員会（理事会と合同開催）

- ① 第 42 回 2024 年 5 月 23 日（木）機械振興会館
- ② 第 43 回 2024 年 10 月 12 日（木）ホテルオークラ福岡
- ③ 第 44 回 2025 年 1 月 24 日（金）東京プリンスホテル
- ④ 第 45 回 2025 年 3 月 25 日（火）機械振興会館

(5) 監事会

2024 年 4 月 22 日（月）機械振興会館にて監事会を開催し、2023（令和 5）年度事業報告書、同収支決算書及び財産目録について監査を行った。

2. 部会に関する事項

(1) 総務部会

佐藤孝造総務部会長の下に、総務部会を 4 回開催し、本会の財務・経理及び組織・運営（他の部会に属するものを除く）に関する事項について審議した。

- ② 第 1 回 2024 年 6 月 14 日（金）機械振興会館
- ③ 第 2 回 2024 年 9 月 11 日（水）(株)寺下機型製作所 会議室
- ④ 第 3 回 2024 年 12 月 11 日（水）機械振興会館
- ④ 第 4 回 2025 年 2 月 18 日（火）機械振興会館

(2) 経営部会

北川宏経営部会長の下に、経営部会を 4 回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討及び会員の企業経営に役立つ情報の提供ならびに行事等の企画・立案について審議した。なお、今年度は、①景気変動とは関係なく、鋳

造業が適正利益を得られるよう取引適正化の継続および競争力強化のための施策について情報共有を図る。②人材確保・定着化のための短期的戦略（待遇面・それ以外の対策）と長期的戦略（イメージや環境整備、次世代の育成等）について整理し、情報交換および情報提供を行う。③外国人材新制度導入が業界に与える影響を把握し、問題点について政府へ要望を行う。の3項目を重点項目として活動を実施した。

- ① 第74回 2024年6月25日（火）機械振興会館（対面）
- ② 第75回 2024年9月12日（木）機械振興会館（ハイブリッド）
- ③ 第76回 2024年12月17日（火）機械振興会館（ハイブリッド）
- ④ 第77回 2025年2月27日（木）機械振興会館（ハイブリッド）

また、業界の動向を把握し、統計データ、最近の鑄造業界動向、原材料副資材コスト動向の会員への情報提供を行った。

（3）技術・環境部会

石田吉孝技術・環境部会長の下に、技術部会を4回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討及び委員会運営等に関する事項について審議した。また、第3回には豊田自動織機 東知多工場の工場見学会を開催した。

- ① 第1回 2024年7月3日（水）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第2回 2024年10月31日（木）豊田自動織機 東知多工場
- ③ 第3回 2024年12月18日（水）Web
- ④ 第4回 2025年2月6日（木）機械振興会館（ハイブリッド）

（4）国際部会

岡村富雄国際部会長の下に、国際部会を4回開催し、国際交流、海外視察・調査等に関する事項について審議した。

- ① 第1回 2024年5月30日（木）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第2回 2024年9月26日（木）(株)マツバラ 会議室
- ③ 第3回 2024年11月20日（水）機械振興会館（ハイブリッド）
- ④ 第4回 2025年1月30日（木）機械振興会館（ハイブリッド）

（5）機材部会

渡辺兼三機材部会長の下に、機材部会を設備・資材委員会と合同で6回開催し、機材部会としての活動方針・計画等に関する事項について審議した。

- ① 第1回 2024年6月6日（木）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 臨時 2024年7月25日（木）Web
- ③ 第2回 2024年10月16日（水）朝霧カントリークラブ（ハイブリッド）
- ④ 臨時 2024年11月14日（木）Web
- ⑤ 第3回 2024年12月4日（水）機械振興会館（ハイブリッド）
- ⑥ 臨時 2024年12月25日（水）Web
- ⑦ 第4回 2025年2月4日（火）機械振興会館（ハイブリッド）
- ⑧ 臨時 2025年3月3日（月）Web

IV. カーボンニュートラル達成に向けた取り組み

世界的に高まる温室効果ガス削減への動きから、我が国においてもカーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの削減目標が政府より示されている。鑄造業界においてもこの政府目標を達成するため、温室効果ガス（主に CO₂）削減に向けて講ずべき対策を検討する「カーボンニュートラル特別委員会」を 2021 年度に発足し、委員会とともに調査・セミナーWG、削減計画 WG、モデル工場実態調査 WG の 3 つの WG を設置し活動を実施。削減計画 WG では、施策項目についての評価リスト「バージョン 1.0」を作成し 2024 年 10 月に協会ホームページ（会員専用ページ）及び省エネセミナー（2024 年 12 月 10 日開催）の省エネコーナーにて公開した。モデル工場実態調査 WG では、2023 年度の実施工場（株）ハイキャスト）での成果報告、本年度の実施工場であるヒロセ合金へのフォローアップなどを実施した。

（１）カーボンニュートラル特別委員会（委員長 岡村 富雄）

- ① 第 13 回 2024 年 6 月 26 日（水）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第 14 回 2024 年 10 月 15 日（火）機械振興会館（ハイブリッド）
- ④ 第 15 回 2024 年 12 月 16 日（月）機械振興会館（ハイブリッド）
- ④ 第 16 回 2025 年 3 月 6 日（木）機械振興会館（ハイブリッド）

（２）実態調査・セミナーWG（エネルギー削減委員会と合同開催）

- ① 第 1 回 2024 年 6 月 11 日（火） Web
- ② 第 2 回 2024 年 9 月 30 日（月） Web
- ③ 臨時 2024 年 12 月 4 日（水） Web
- ⑤ 第 3 回 2025 年 1 月 28 日（火） ハイブリッド
- ⑤ 第 4 回 2025 年 3 月 6 日（木） Web

（３）削減計画 WG

- ① 第 1 回 2024 年 6 月 18 日（水）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第 2 回 2024 年 10 月 15 日（火）機械振興会館（ハイブリッド）
- ③ 第 3 回 2024 年 12 月 16 日（月）機械振興会館（ハイブリッド）
- ④ 第 4 回 2025 年 3 月 6 日（木）機械振興会館（ハイブリッド）

（４）モデル工場実態調査 WG

- ① 第 1 回 2024 年 4 月 22 日（月）ヒロセ合金
- ② 第 2 回 2024 年 5 月 27 日（月）ヒロセ合金
- ③ 第 3 回 2024 年 11 月 25 日（月）ヒロセ合金（ハイブリッド）

V. 事業活動に関する事項

1. 大会及び講演会・講習会・懇親会等の開催に関する事項

（１）2025 年 新年賀詞交歓会

2025 年 1 月 24 日（金）東京プリンスホテル マグノリアホール 参加者数 283 名
・来賓参加：新藤 義孝 衆議院議員
経済産業省 大臣官房 田中 一成 審議官 他

（２）2024 年度春季大会の開催

2024 年 5 月 23 日（木）春季大会の一連の行事として、機械振興会館ならびに東京プリンスホテルに於いて、社員総会、理事会・協会役員会、協会賞表彰式、鑄

造技士認定証授与式、懇親会を開催した（懇親会は鑄造技士認定授与式懇親会と合同開催 参加者数 197 名）。

（3）2024 年度秋季大会の開催

2024 年 10 月 3 日（木）～ 5 日（土）於 福岡他

① 懇親会

2024 年 10 月 3 日（木）参加者数 131 名 ホテルオークラ福岡

② 講演会

2024 年 10 月 4 日（金）参加者数 126 名 ホテルオークラ福岡

演 題	講演者他（所属）
(1) DX 推進委員会企画 【鑄造企業に役立つ DX 戦略】 ① 基調講演Ⅰ：中堅中小製造業の身の丈デジタル化 ② 基調講演Ⅱ：新常識（ニューノーマル）は非常識 ～脱ものづくりに挑むこれから 10 年～ ③ パネルディスカッション： DX 活用戦略における展望と課題	ウイングアーク 1st(株) 大川 真史 (株)フジタ 梶川 貴子 ファシリテーター 大川 真史 パネラー 藤原宏嗣(アサゴエ工業(株)) 沖 寿之((株)木村鑄造所) 塩満栄治(中央可鍛工業(株))
(2) 技術・環境部会企画 【経営戦略に役立つ技術開発】 ① オープンイノベーションを促す研究開発 インフラの整備 ② 経営戦略：建設ラッシュに伴う H 形鋼の需要拡大への対応 技術開発：縦・横遠心鑄造法による圧延用ロールの製造技術の開発	ヒノデホールディングス(株) 甲斐 信博 虹技(株) 神戸 隆
(3) カーボンニュートラル（CN）特別委員会企画 【CN（省エネ）特集】 ① CN モデル工場実態調査事業成果報告 ② クボタ阪神工場における CN の取組み ③ CN のために何をすべきか、何ができるかの提言	(株)ハイキャスト 牧元 貴史 (株)クボタ 大井手 遼平 (株)北川鉄工所 北川 宏

③ 親睦ゴルフ大会

2024 年 10 月 5 日（土）参加者数 24 名 福岡県 小郡カンツリー倶楽部

（４）若手経営者全国大会

若手経営者委員会が企画・運営する全国大会を夏季・冬季の２回開催した。

① 夏季大会（静岡）

【講演会】2024 年 9 月 5 日（木）ホテルクラウンパレス浜松

参加者数 152 名

演 題	講 演 者（所 属）
「素形材産業の政策動向について」	経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 星野 昌志
「アジャイルな変革で、自走する組織をつくる」	ビジネスブレークスルー大学 経営学部教授 斉藤 徹

【工場見学会】参加者数 90 名

A コース：(株)松下工業、栗田工業(株)

B コース：(株)木村鋳造所、栗田産業(株)

C コース：三鷹光器(株)、ヤマハ発動機(株)

② 冬季大会（素形材団体との交流会）

【講演会】 2025 年 2 月 14 日（金）日比谷国際ビルカンファレンススクエア

参加者数 117 名

【懇親会】 レストランアラスカ 日本プレスセンター店

参加者数 109 名

演 題	講 演 者（所 属）
「第 7 次エネルギー基本計画(案)について」	資源エネルギー庁長官官房総務課 戦略企画室 総括補佐 疋田 正彦
「対話を通じて、対人問題を解決する」	ビジネスブレークスルー大学 経営学部教授 斉藤 徹

（５）非鉄情報交換会

参加企業による地域及び業界動向、価格転嫁についての情報交換を行い、協会非鉄関連事業の紹介と報告を併せて実施した。

① 春季非鉄情報交換会（第 19 回）参加者数 45 名

2024 年 6 月 18 日（火）セミナー・情報交換会 機械振興会館

演 題	講 演 者 (所 属)
「物流の 2024 年問題」	経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 物流企画室 飯島 響
「労務費の価格転嫁について」	<阪尾コンサルティング事務所> 代表 阪尾 進
「労務費について」	<株式会社双葉> 代表取締役社長 財部 剛
	<前橋橋本合金株式会社> 代表取締役会長 橋本 実

- ② 秋季非鉄情報交換会（第 20 回）参加者数 36 名
2024 年 11 月 8 日（金）工場見学・情報交換会
工場見学会：(株)光明製作所
情報交換会：ホテルモントレ大阪 6F メヌエット

（6）安全衛生対策セミナー

労働災害の減少を図るため、「リスクアセスメント」をテーマにしたオンラインセミナーを（一社）日本鋳鍛鋼会、（一社）日本ダイカスト協会及び（一社）日本鍛造協会と合同で開催した。

参加者数 10 名（4 団体合計 21 名）

日 時：2025 年 3 月 4 日（火）

場 所：機械振興会館

プログラム

【講義 1】リスクアセスメントの PDCA「ゼロ災、品質向上、作業効率化」 喫緊の災害対策と今後の安全衛生の課題
【講義 2】リスクアセスメントのグループ演習、発表、質疑応答
講師：加藤 雅章（中央労働災害防止協会 中災防安全衛生エキスパート）

（7）5 団体共催セミナー

（一社）日本ダイカスト協会、（一社）日本鍛造協会、（一社）日本鋳鍛鋼会及び高度ポリテクセンター*の 5 団体合同で、各協会の会員に対して、以下に示す基礎的な研修セミナーを開催した。本会からは延べ 27 名（全体で 42 名）の参加があった。

① 製造業における実践的生産管理

2024 年 11 月 25 日（月）～ 27 日（水）8 名（本会 6 名）

② 2次元C A Dによる機械製図技術 【AutoCAD】

2024年12月17日（火）～18日（水） 4名（本会4名）

③ 工業・製品図面読み方のポイント「図面から製品情報を読むために」

2025年1月27日（月）、31日（金）、2月3日（月） 13名（本会8名）

④ 生産設備を故障させないための機械保全

2025年2月3日（月）～4日（火） 11名（本会6名）

⑤ 金属材料と熱処理技術

2025年3月12日（水）～13日（木） 6名（本会3名）

*（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター

（8）鋳造用3D-CAD研修会

2024年7月18日（木）～19日（金）機械振興会館 参加者数11名

プログラム

コース	内 容	講習時間
2D/3D 標準基礎教育	<ul style="list-style-type: none">・研修内容説明、CADモデル活用例の紹介（鋳造CAE）・基本操作：メニュー、画面操作、ビュー、座標系・基本作図・モデリング：ソリッドモデリング、レイアウト作成、サーフェスの基本・編集機能：形状修正、変形、複写・移動・便利機能：マスク、断面、計測、マスプロパティ・各種設定・カスタマイズ	1日目 10:00～ 17:00
3D 鋳造特有の操作	<ul style="list-style-type: none">・標準基礎教育（復習）・完品図から素材図への展開（穴削除、R作成）・鋳造方案作成：湯口、湯道・鋳造方案作成：堰、湯だまり・鋳造方案作成：押湯、STL出力・鋳造方案変更：押湯変更、スリーブ、冷金の追加・外部ファイル出力：STL出力(鋳造CAE用データ)	2日目 9:30～ 16:30

（9）第7回省エネセミナー

2024年12月10日（火）機械振興会館 参加者数50名

（公社）日本鋳造工学会、（一社）日本ダイカスト協会の協賛により、昨年同様「鋳造業におけるカーボンニュートラルに向けた取り組み」を副題とし、下記の内容で開催した。

プログラム

演 題		講 演 者
・パネル展示会：設備メーカーの取り組み(パネル展示会にて、出展者と交流)		
出展者(13社、ブース番号順)： 日本ルツボ(株)、大阪特殊合金(株)、(株)セーフウェイジャパン、富士電機(株)、新東工業(株)、 (株)KAMAMESHI、環境エネルギー事業協会、(株)マクニカ、(株)アトラスコプコ、 太洋マシナリー(株)、(株)ナニワ炉機研究所、(株)IHI		
・セミナー第一部： CN・省エネに関する話題提供		
1	省エネからはじめる脱炭素経営	(株)KAMAMESHI 小林 俊 (一社)環境エネルギー事業協会 植杉 昌敏
2	グリーントランスフォーメーション (GX) に 向けた熱利用の高度化 ～水素化・電化～	東京電力ホールディングス(株) 矢田部 隆志
3	素材製造領域の CN 推進活動	マツダ(株) 平川 康二
・セミナー第二部： 鑄造工場における省エネ事例		
4	日本鑄造協会における省エネ・カーボンニュートラルに向けた活動	日本鑄造協会 事務局
5	コンプレッサのライフサイクルコストと CO ₂ 排出量の削減について	アトラスコプコ(株) 田原 隆邦
6	カーボンニュートラルの取組について ～ CO ₂ 排出量削減への取組み～	(株)木村鑄造所 群馬製作所 松田 英昭
7	小さなことからコツコツ CN 活動 ～省エネを楽しむ銅合金鑄物工場～	ヒロセ合金(株) 近藤 哲司

2. 国際競争力を発揮できる環境の整備に関する事項

(1) 鑄物産業振興議員連盟への要望

2024年6月19日に開催された自由民主党「第24回鑄物産業振興議員連盟 総会（会長：麻生太郎衆議院議員）」に併せて情報交換会を実施し、議員連盟及び経済産業省他官公庁に向けて、下記の施策・税制要望ならびに情報交換を行った。

【重点項目】

1. 取引慣行適正化の推進
2. 安価かつ安定的なエネルギー供給の確保
 - ① FIT 制度及び FIP 制度における賦課金の抑制、並びに減免制度の入口要件の見直し
 - ② 原子力発電の安全性を確保した早期再稼働及び新設を含めた安価で安定的なエネルギー供給
 - ③ 電気、ガス等のエネルギー価格高騰に対する支援
3. 鉄スクラップ等の原材料・副資材の安定供給

4. 中小企業省力化投資補助事業における鋳造関連設備の対象化
5. 物流業界の 2024 年問題への対策の徹底
6. 中小企業・小規模事業者の設備投資を支援する税制措置の延長
7. 温室効果ガス削減に向けた工程表の提供、支援策の拡充

【施策関連要望】

1. 特定技能外国人材制度及び外国人技能実習制度の柔軟な運用
2. 大学等における鋳造分野の技術習得の専門課程の拡充

【予算・税制要望】

1. ものづくり・商業・サービス補助金等の生産性向上等のための補助金制度の存続・拡充
2. 電力多消費産業に対する省エネ投資支援施策の拡充等
3. 中小企業に配慮した人材育成等への助成の復活・拡充
4. 地球温暖化対策税の用途拡大や安易な課税拡大の反対

(2) 経営基盤強化に係る政策制度への対応

2024 年 11 月 27 日に開催された自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」において下記の令和 7 年度の予算・税制要望を行った。

【重点項目】

1. 取引慣行適正化の推進
2. 安価かつ安定的なエネルギー供給の確保
- ① 再生可能エネルギー発電促進賦課金の抑制、並びに減免制度の入口要件の見直し
- ② 原子力発電の安全性を確保した早期再稼働及び新設を含めた安価で安定的なエネルギー供給
- ③電気、ガス等のエネルギー価格高騰に対する支援
3. 鉄スクラップ、銅、アルミ等の原材料・副資材の安定供給
4. 中小企業省力化投資補助事業における鋳造関連設備の対象化
5. 中小企業・小規模事業者の設備投資を支援する税制措置の延長
6. 外国人材受入れ制度の柔軟な運用

【施策関連要望】

1. 温室効果ガス削減に向けた工程表の提供、支援策の拡充
2. 大学等における鋳造分野の技術習得の専門課程の拡充
3. 物流業界の 2024 年問題への対策の徹底

【予算・税制要望】

1. 中小企業・小規模事業者の設備投資を支援する税制措置の延長
2. ものづくり・商業・サービス補助金等の生産性向上等のための補助金制度の存続・拡充
3. 電力多消費産業に対する省エネ投資支援施策の拡充等
4. 中小企業に配慮した人材育成等への助成の復活・拡充
5. 地球温暖化対策税の用途拡大や安易な課税拡大の反対

3. 鑄造業の経営改善・振興対策、その他に関する事項

(1) 取引条件適正化の推進

① 素形材産業取引適正化委員会（藤原会長が委員）

素形材産業適正取引適正化委員会を書面審議にて実施し、素形材産業取引ガイドライン最終改訂版が6月に公表された。

② 自動車取引適正化研究会（藤原会長が委員）

自動車取引適正化研究会が書面審議にて実施され、自動車産業適正取引ガイドライン最終改訂版が5月に公表された。

③ 中小企業政策審議会中小企業経営支援分科会取引問題小委員会

2025年1月22日に取引問題小委員会が開催され、鈴木専務理事がオンラインにて参加した。

④ 価格交渉促進月間（3月、9月）等

価格交渉促進月間及び11月から実施された「手形等のサイトの短縮について」会員企業に周知徹底し、価格会員企業の取引慣行適正化を推進した。

⑤ 公正取引委員会の労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針「価格交渉の申込様式（例）」を参考に価格交渉申込シート「（一社）日本鑄造協会標準モデル」を作成し、会員企業の取組事例をと併せて会員企業に提供し取引慣行適正化を支援した。

⑥ 自主行動計画フォローアップ調査（経産省）

自主行動計画フォローアップ調査を会員鑄造企業（受注側・発注側）に対して実施し、調査結果の概要を協会ホームページへの掲載等周知した。

⑦ 日本自動車部品工業会と素形材産業8団体との懇談会

2024年11月27日に開催し、石田副会長及び鈴木専務理事が参加した。自動車部品工業会より取引適正化等に係る取組み、素形材産業各団体より取引適正化・カーボンニュートラル等に関する取組について説明し、意見交換を行った。

⑧ 「会長名お願い文書」発行

エネルギー価格並びに物価高騰、労務費上昇などに対し、2025年1月、会長名の「健全な取引ならびに安定供給に向けたお願い」を発行し、会員企業の取引慣行適正化を支援した。

⑨ 素形材産業ビジョン策定委員会

経済産業省の新たな「素形材産業ビジョン」策定のため、協会が委員推薦した(株)木村鑄造所の木村寿利社長が委員として参画した。

開催場所は全て経済産業省

第1回 2024年7月16日（火）

第2回 2024年9月2日（月）

第3回 2024年10月16日（水）

第4回 2024年11月20日（水）

第5回 2024年12月19日（木）

第6回 2025年3月12日（水）

(2) DX推進委員会（委員長 藤原 宏嗣）

会員企業のスマートファウンドリー化の推進のために 2018 年度に発足した IoT 推進特別委員会の活動を引き継ぎ、2024 年度から DX 推進委員会として新たに活動を開始した。

① 委員会

第 1 回 2024 年 7 月 8 日（月）機械振興会館

第 2 回 2024 年 9 月 4 日（水）Web

第 3 回 2024 年 11 月 8 日（金）ウイングアーク 1st

第 4 回 2024 年 12 月 9 日（月）Web

第 5 回 2025 年 2 月 19 日（水）ウイングアーク 1st

② セミナー、鑄造 IoTLT

2024 年 9 月 25 日（水）DX セミナー

③ 工場見学会

2024 年 11 月 8 日（金）日進工業(株)

(3) 再生エネルギー固定買取制度（FIT）減免制度への対応

減免基準（製造業平均の 8 倍）を満たせず、減免措置が認定されない可能性がある企業があることから、同基準算出方法の変更を経済産業省に要望し、原単位の入口要件である製造業平均の数値（0.7→0.65）に緩和された。

(4) 型保管の実態、費用負担に関するアンケートを実施し、会員企業へのフィードバック並びに経産省へ実態の報告を行った。

(5) 電気料金等の高騰への対応

電気・ガス料金負担軽減支援事業、重点支援地方交付金等による負担軽減措置等の政府施策を会員企業に周知徹底した。

(6) 景況の把握と困りごとの収集

市場調査委員会で実施している四半期毎の景況調査において、新たな調査項目として原材料、副資材、エネルギー価格、労務費上昇分の転嫁状況等ならびに困りごと等を収集、確認した。本集計結果は鑄造ジャーナル、協会ホームページ、各種会合等で報告するとともに、市場調査委員会・経営部会において精査・分析の上、政府や鑄物議連等の要望に反映した。

(7) 経済産業省会員企業視察

以下の日程で経済産業省の会員企業への工場視察・ヒアリングならびに情報交換会を実施した。

①2024 年 9 月 5 日（木）静岡県の会員企業 1 社

視察者：素形材産業室

②2024 年 9 月 6 日（金）愛知県の会員企業 1 社

視察者：審議官、自動車課、素形材産業室

③2024 年 9 月 6 日（金）若手経営者夏季全国大会工場見学会

視察者：素形材産業室

④2024 年 10 月 8 日（火）埼玉県の会員企業 2 社

視察者：中小企業庁取引課、素形材産業室

⑤2024 年 11 月 28 日（木）埼玉県の会員企業 2 社

視察者：素形材産業室

4. 同業との連携に関する事項

（1）量産銑鉄鋳物委員会（委員長 竹内 英貴）

量産銑鉄鋳物企業による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に
情報交換と機械振興会館・オンラインによる会合を計 4 回開催した。

① 第 65 回 2024 年 7 月 4 日（木）リファレンスはかた近代ビル

7 月 5 日（金）日之出水道機器(株) 佐賀工場 見学

② 第 66 回 2024 年 9 月 13 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

③ 第 67 回 2024 年 12 月 6 日（木）機械振興会館（ハイブリッド）

④ 第 68 回 2025 年 3 月 6 日（木）TKP 名古屋カンファレンスセンター

3 月 7 日（金）土岐可鍛工業(株)・中央可鍛工業(株) 見学

（2）非量産銑鉄鋳物委員会（委員長 若林 誠）

非量産銑鉄鋳物企業による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的
に 4 回開催した。

① 第 50 回 2024 年 6 月 14 日（金）(株)佐々木鋳工所・(株)伊藤鋳造鉄工所

見学・委員会

② 第 51 回 2024 年 9 月 20 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

③ 第 52 回 2024 年 11 月 15 日（金）(株)富田鋳工所・三井ミーハナイトメタル(株)

見学・委員会

④ 第 53 回 2025 年 2 月 28 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

（3）精密鋳造経営委員会（委員長 野崎 修一）

① 第 74 回 2024 年 5 月 10 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

② 第 75 回 2024 年 8 月 28 日（水）機械振興会館（ハイブリッド）

③ 第 76 回 2024 年 12 月 3 日（火）機械振興会館（ハイブリッド）

④ 第 77 回 2025 年 3 月 5 日（水）機械振興会館（ハイブリッド）

（4）非鉄委員会（委員長 井上 晃）

① 第 1 回 2024 年 8 月 1 日（木）機械振興会館（ハイブリッド）

② 第 2 回 2024 年 12 月 18 日（水）機械振興会館（ハイブリッド）

③ 第 3 回 2025 年 3 月 14 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

（5）軽合金委員会（委員長 増田 朋和）

① 第 1 回 2024 年 6 月 11 日（火）機械振興会館（ハイブリッド）

② 第 2 回 2024 年 10 月 29 日（火）機械振興会館（ハイブリッド）

③ 第 3 回 2025 年 3 月 7 日（金）中島合金(株) 見学・委員会

5. 調査研究に関する事項

市場調査委員会（委員長 北川 宏）を開催し、景況調査結果による分析、会員企業の困りごとの把握。また、原材料・副資材、エネルギー価格高騰等の状況ならびに対応について審議した。

- ① 第 40 回 2024 年 6 月 25 日（火）機械振興会館
- ② 第 41 回 2024 年 9 月 12 日（木）機械振興会館
- ③ 第 42 回 2024 年 12 月 17 日（火）機械振興会館
- ④ 第 43 回 2025 年 2 月 27 日（木）機械振興会館

6. 鑄造業に係る施策・税制等の要望・陳情に関する事項

令和 7 年度予算・税制等要望として、6 月に自由民主党の鑄物産業振興議員連盟、11 月に自由民主党の「予算・税制等に関する政策懇談会」に対して鑄造業界の要望を行った。

7. 中小企業振興に関する事項

（1）組合代表者会（委員長 丹羽 龍）

組合代表者会を事務局長会と合同で以下のとおり開催した。

- ① 第 66 回 2024 年 7 月 11 日（木）機械振興会館
- ② 第 67 回 2024 年 9 月 18 日（水）Web
- ③ 第 68 回 2024 年 12 月 12 日（木）機械振興会館
- ④ 第 69 回 2025 年 3 月 13 日（木）機械振興会館

（2）組合事務局長会（委員長 永井 克昌）

上記第 68～69 回の組合代表者会と合同で組合事務局長会第 77～78、80～81 回を開催し、単独開催を以下のとおり実施した。

- 第 79 回 2024 年 9 月 20 日（金）事務局長会単独 朝日鑄工(株)

（3）若手経営者委員会（委員長 永森 久之）

若手経営者委員会を 5 回開催し、若手経営者全国大会（夏・冬）の企画・運営他に関し審議した。

- ① 第 68 回 2024 年 4 月 23 日（火）Web
- ② 第 69 回 2024 年 6 月 4 日（火）機械振興会館（ハイブリッド）
- ③ 第 70 回 2024 年 10 月 16 日（水）(株)双葉 見学・委員会
- ④ 第 71 回 2024 年 12 月 5 日（木）機械振興会館（ハイブリッド）
- ⑤ 第 72 回 2025 年 3 月 19 日（金）香川鑄造(株) 見学・委員会

（4）組合だよりの発行

組合員を対象に各組合の業況、組合代表者会の議事録・報告内容等を掲載した「組合だより」を毎月（計 12 回）発行した。

8. 技術開発に関する事項

(1) キュポラ操業研究委員会（委員長 田中 裕一）

テーマ：カーボンニュートラル(CN)及びバイオ原料に関する意見交換

*)外部組織キュポラ共創 WG と連携

- ① 臨時 2024 年 4 月 15 日（月）Web
- ② 第 1 回 2024 年 5 月 7 日（火）Web
- ③ 第 2 回 2024 年 6 月 3 日（月）(株)IJTT 北上 見学
2024 年 6 月 4 日（火）(株)IJTT 北上（ハイブリッド）
- ④ 第 3 回 2024 年 7 月 2 日（火）Web
- ⑤ 第 4 回 2024 年 8 月 6 日（火）Web
- ⑥ 第 5 回 2024 年 9 月 12 日（木）(株)栗本鐵工所 加賀屋工場 見学
2024 年 9 月 13 日（金）(株)栗本鐵工所（ハイブリッド）
- ⑦ 第 6 回 2024 年 10 月 1 日（火）機械振興会館（ハイブリッド）
- ⑧ 第 7 回 2024 年 11 月 5 日（火）Web
- ⑨ 第 8 回 2024 年 12 月 2 日（月）アイシン高丘(株) 見学
2024 年 12 月 3 日（火）アイシン高丘(株)（ハイブリッド）
- ⑩ 第 9 回 2025 年 1 月 7 日（火）Web
- ⑪ 第 10 回 2025 年 2 月 4 日（火）Web
- ⑫ 第 11 回 2025 年 3 月 3 日（月）日産自動車(株)栃木工場 見学
2025 年 3 月 4 日（火）日産自動車(株)栃木工場（ハイブリッド）

(2) 電気炉操業研究委員会（委員長 菅野 利猛）

テーマ：委員アンケートに基づき、溶湯に関する話題（溶湯処理、熱分析、溶解法）、品質管理、新 JIS などの議題を討議

- ① 第 1 回 2024 年 6 月 14 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第 2 回 2024 年 9 月 13 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）
- ③ 第 3 回 2025 年 1 月 17 日（金）(株)木村鑄造所群馬製作所（ハイブリッド）
- ④ 第 4 回 2025 年 3 月 12 日（水）機械振興会館（ハイブリッド）

(3) 鑄型技術委員会（委員長 間瀬 和之）

テーマ：鑄物砂、造型システムに関する最新情報の提供及び討議

- ① 第 1 回 2024 年 6 月 21 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第 2 回 2024 年 9 月 18 日（水）機械振興会館（ハイブリッド）
- ③ 第 3 回 2024 年 12 月 5 日（木）(株)大和重工 吉田工場 見学
2024 年 12 月 6 日（金）(株)大和重工 本社工場 見学
及び委員会（ハイブリッド）

- ④ 第 4 回 2025 年 2 月 28 日（金）機械振興会館（ハイブリッド）

小 Gr での活動：JACT 試験法改正のため、全体打合せを 3 回開催。

- ① 第 1 回 2024 年 6 月 20 日（木）機械振興会館（ハイブリッド）
- ② 第 2 回 2024 年 9 月 10 日（火）Web
- ③ 第 3 回 2025 年 2 月 28 日（金）Web

(4) 精密鑄造技術委員会 (委員長 登 勇気)

テーマ：精密鑄造用 3D ワックス模型の適用検討、海外技術情報の交換、
他材料強度に関する調査 WG を今年から開始した。

(公社) 日本鑄造工学会精密鑄造研究部会との共同開催で実施した。

- ① 第 1 回 2024 年 5 月 29 日 (水) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ② 第 2 回 2024 年 8 月 28 日 (水) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ③ 第 3 回 2024 年 11 月 21 日 (木) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ④ 第 4 回 2025 年 2 月 20 日 (木) 機械振興会館 (ハイブリッド)

材料強度に関する調査 WG

- ① 第 1 回 2024 年 8 月 26 日 (月) Web

(5) 銅合金技術委員会 (委員長 岡根 利光)

テーマ：金型分科会(青銅合金の金型鑄造)、標準化分科会、JIS 分科会
(JIS H 5120CAC400 系及び CAC500 系鑄物への Bi,S の影響の調査)、
および、材料欠陥に関する WG)

- ① 第 1 回 2024 年 6 月 28 日 (金) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ② 第 2 回 2024 年 10 月 2 日 (水) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ③ 第 3 回 2024 年 12 月 19 日 (木) 機械振興会館 (ハイブリッド)
- ④ 第 4 回 2025 年 3 月 11 日 (火) 機械振興会館 (ハイブリッド)

材料欠陥に関する WG

- ① 第 1 回 2024 年 5 月 30 日 (木) Web
- ② 第 2 回 2024 年 6 月 24 日 (月) Web
- ③ 第 3 回 2024 年 7 月 24 日 (水) Web
- ④ 第 4 回 2024 年 8 月 28 日 (水) Web
- ⑤ 第 5 回 2024 年 9 月 24 日 (火) Web
- ⑥ 第 6 回 2024 年 10 月 9 日 (水) Web
- ⑦ 第 7 回 2024 年 10 月 31 日 (木) Web
- ⑧ 第 8 回 2024 年 11 月 28 日 (木) Web
- ⑨ 第 9 回 2025 年 1 月 17 日 (金) Web
- ⑩ 第 10 回 2025 年 2 月 28 日 (金) Web
- ⑪ 第 11 回 2025 年 3 月 28 日 (金) Web

9. 環境に関する事項

(1) エネルギー削減委員会 (委員長 山本 雅之)

【委員会】(カーボンニュートラル特別委員会 WG1 と共同開催)

- ① 第 1 回 2024 年 6 月 11 日 (火) Web
- ② 第 2 回 2024 年 9 月 30 日 (月) Web
- ③ 臨時 2024 年 12 月 4 日 (水) Web
- ④ 第 3 回 2025 年 1 月 28 日 (火) ハイブリッド
- ⑤ 第 4 回 2025 年 3 月 25 日 (火) Web

【エネルギー使用量調査の実施・結果の公表】

調査を実施し鑄造ジャーナル 2025 年 2 月・3 月号に調査結果を公表した。

(2) PRTR マニュアルに関する説明会

PRTR マニュアルに関する説明会を、2024 年 4 月 17 日（水）、4 月 24 日（水）に Web にて実施し、延べ 70 名が参加した。

10. 指導・教育・人材育成に関する事項

(1) 人材育成特別委員会（委員長 大田 喜穂）

2024 年 11 月 13 日（水）オンライン会議

(2) 鑄造カレッジ企画運営委員会（委員長 大田 喜穂）

（日本鑄造工学会の人材育成委員会と鑄造カレッジ合同委員会を運営）

2024 年度鑄造技士認定及び鑄造カレッジ受講者選定の審議のため、書面会議を実施した。

① 第 1 回鑄造カレッジ合同委員会 2024 年 5 月 20 日（月）Web

② 第 2 回鑄造カレッジ合同委員会 2025 年 3 月 14 日（金）Web

(3) 鑄造カレッジ現地責任者会議（幹事長 北澤 幸廣）

① 2024 年 4 月 27 日（木）鑄造カレッジ軽合金インターンシップ打合せ

② 2024 年 5 月 29 日（月）鑄造カレッジ関東地区現地責任者打合せ Web

③ 2024 年 6 月 19 日（木）鑄造カレッジ現地責任者打合せ Web

④ 2024 年 6 月 24 日（月）鑄造カレッジ東海地区打合せ

⑤ 2024 年 7 月 11 日（木）鑄造カレッジ軽合金インターンシップ打合

⑥ 2024 年 8 月 30 日（金）日本鑄造工学会オンデマンド事業意見交換会

⑦ 2024 年 10 月 15 日（火）鑄造カレッジ現地責任者会議 機械振興会館

⑧ 2024 年 12 月 10 日（火）鑄造カレッジカリキュラム打合せ Web

⑨ 2025 年 3 月 5 日（水）鑄造カレッジ現地責任者会議 機械振興会館

(4) 上級カレッジ委員会（委員長 佐藤 万企夫）

第 1 回 2024 年 10 月 8 日（火）機械振興会館（ハイブリッド）

(5) 新人教育研修プログラム委員会（委員長 北澤 幸廣）

① 第 1 回 2024 年 11 月 5 日（火）Web

② 第 2 回 2025 年 3 月 3 日（月）機械振興会館

(6) 2024 年度鑄造カレッジは全地区共通 Web 講義を 30 科目中、12 科目導入し、関東、東海、関西地区にて開催した。また、各地区インターンシップ、工場見学を実施した。

① 2024 年 5 月 23 日（木）鑄造技士セミナー、授与式

② 2024 年 6 月 29 日（土）鑄造カレッジ 関東地区開講式

③ 2024 年 7 月 5 日（金）鑄造カレッジ 関西地区開講式

④ 2024 年 7 月 6 日（土）鑄造カレッジ 関西地区

⑤ 2024 年 7 月 12 日（金）鑄造カレッジ 東海地区開講式

⑥ 2024 年 7 月 13 日（土）鑄造カレッジ 関東地区

- ⑦ 2024 年 7 月 26 日（金） 鋳造カレッジ 東海地区
 - ⑧ 2024 年 7 月 27 日（土） 鋳造カレッジ 関東・関西地区
 - ⑨ 2024 年 8 月 9 日（金） 鋳造カレッジ 共通 Web
 - ⑩ 2024 年 8 月 20 日（火）～23 日（金）
鋳造カレッジ軽合金・銅合金コース専門講義
 - ⑪ 2024 年 8 月 23 日（金） 鋳造カレッジ 東海地区
 - ⑫ 2024 年 9 月 6 日（金） 鋳造カレッジ 共通 Web
 - ⑬ 2024 年 9 月 9 日（月）～13 日（金）
鋳造カレッジ 関東地区インターンシップ
 - ⑭ 2024 年 9 月 16 日（月）～20 日（金）
鋳造カレッジ 軽合金コースインターンシップ
 - ⑮ 2024 年 9 月 20 日（金） 鋳造カレッジ 東海地区
 - ⑯ 2024 年 10 月 4 日（金） 鋳造カレッジ 共通 Web
 - ⑰ 2024 年 10 月 18 日（金） 鋳造カレッジ 共通 Web
 - ⑱ 2024 年 11 月 1 日（金） 鋳造カレッジ 関東・東海・関西地区
 - ⑲ 2024 年 11 月 15 日（金） 鋳造カレッジ 東海・関西地区
 - ⑳ 2024 年 11 月 16 日（土） 鋳造カレッジ 関東・関西地区
 - ㉑ 2024 年 11 月 29 日（金） 鋳造カレッジ 東海地区
 - ㉒ 2024 年 12 月 6 日（金） 鋳造カレッジ 東海地区工場見学
 - ㉓ 2024 年 12 月 12 日（木） 鋳造カレッジ 関西地区工場見学
 - ㉔ 2024 年 12 月 13 日（金） 鋳造カレッジ 関西地区
 - ㉕ 2024 年 12 月 14 日（土） 鋳造カレッジ 関東・関西地区
 - ㉖ 2025 年 1 月 15 日（水）～17 日（金）
鋳造カレッジ 東海地区インターンシップ前半
 - ㉗ 2025 年 1 月 20 日（月）～24 日（金）
鋳造カレッジ 関西地区インターンシップ
 - ㉘ 2025 年 1 月 30 日（木）～31 日（金）
鋳造カレッジ 東海地区インターンシップ後半
 - ㉙ 2025 年 1 月 31 日（金）～ 2 月 1 日（土） 鋳造カレッジ 関東地区工場見学
 - ㉚ 2025 年 2 月 17 日（月）～21 日（金）
鋳造カレッジ 銅合金コースインターンシップ
- （7）鋳造入門講座も一部 Web 講義を導入し実施した。また、鋳造カレッジ上級コースも開講した。
- ① 2024 年 4 月 19 日（金）、20 日（土）入門講座開講式、第 1・2 回講座
 - ② 2024 年 5 月 17 日（金）、18 日（土）第 3・4 回入門講座 Web
 - ③ 2024 年 6 月 6 日（木）～ 8 日（土）上級コース開講式、第 1 回講座
 - ④ 2024 年 6 月 20 日（木）、22 日（土）入門講座 第 5・6 回入門講座
 - ⑤ 2024 年 6 月 21 日（金）入門講座 現地研修
 - ⑥ 2024 年 7 月 4 日（木）～6 日（土）第 2 回上級コース講座

- ⑦ 2024 年 7 月 25 日 (木) ～27 日 (土) 第 7・8・9 入門講座
- ⑧ 2024 年 8 月 23 日 (金)、24 日 (土) 第 10・11 入門講座 Web
- ⑨ 2024 年 8 月 30 日 (金)、31 日 (土) 第 3 回上級コース講座
- ⑩ 2024 年 9 月 27 日 (金)、28 日 (土) 第 12・13 入門講座、修了式
- ⑪ 2024 年 10 月 17 日 (木) ～19 日 (土) 第 4 回上級コース講座
- ⑫ 2024 年 11 月 14 日 (木)、15 日 (金) 第 1, 2 回入門オンライン講座
- ⑬ 2024 年 11 月 28 日 (木) ～30 日 (土) 第 5 回上級コース講座
- ⑭ 2024 年 12 月 5 日 (木)、6 日 (金) 第 3, 4 回入門オンライン鑄鉄講座
- ⑮ 2024 年 12 月 17 日 (火)、18 日 (水) 第 3, 4 回入門オンラインアルミ講座
- ⑯ 2025 年 1 月 10 日 (金)、11 日 (土) 第 6 回上級コース講座
- ⑰ 2025 年 1 月 16 日 (木)、17 日 (金) 第 5, 6 回入門オンライン講座
- ⑱ 2025 年 2 月 13 日 (木)、14 日 (金) 第 7, 8 回入門オンライン講座
- ⑲ 2025 年 2 月 20 日 (木) ～22 日 (土) 第 7 回上級コース講座、修了式
- (8) 素形材団体との意見交換会
 - ① 2024 年 8 月 30 日 (金) ハイブリッド (日本鑄造工学会)
 - ② 2025 年 1 月 17 日 (金) Web (素形材センター・日本鑄造工学会)
- (9) 鑄造技術研修会
 - ① 鑄鉄第 1 回 2024 年 6 月 13 日 (木)「築炉・溶解」Web 55 名参加
 - ② 鑄鉄第 2 回 2024 年 11 月 28 日 (木)「築炉・溶解」Web 44 名参加
 - ③ 鑄鉄第 3 回 2024 年 12 月 11 日 (水)「方案・欠陥」Web 33 名参加
 - ④ 鑄鉄第 4 回 2025 年 3 月 13 日 (木)「砂・造型法」Web 38 名参加
- (10) 技術普及委員会・鑄造製造現場の Q&A 集改訂編集委員会
 - ※Q&A 集は第 2 版 8 月発刊
 - ① 2024 年 4 月 5 日 (木) 第 1 回技術普及委員会・Q&A 集編集委員会
 - ② 2024 年 4 月 16 日 (火) 第 2 回技術普及委員会・Q&A 集編集委員会
 - ③ 2024 年 5 月 13 日 (月) 第 3 回技術普及委員会・Q&A 集編集委員会
 - ④ 2024 年 7 月 4 日 (木) 第 4 回技術普及委員会・Q&A 集編集委員会
 - ⑤ 2024 年 11 月 28 日 (木) 第 5 回技術普及委員会
- (11) オンデマンド教育教材の作製及び会員への提供

昨年度に (公社) 日本鑄造工学会と共同で作製したオンデマンド教育教材を会員等は無償提供するとともに、非鉄科目のオンデマンド教育教材を作製した。
- (12) 4 団体共催・労働安全衛生研修会の準備
 - ① 2024 年 4 月 4 日 (木)
 - ② 2024 年 7 月 24 日 (水)
 - ③ 2024 年 11 月 21 日 (木)
 - ④ 2025 年 1 月 22 日 (水)
 - ⑤ 2025 年 2 月 13 日 (木)
 - ⑥ 2025 年 2 月 26 日 (水)

1 1. 鑄造技士会活動に関する事項

鑄造カレッジを一定の成績で終了した受講生に対する協会認定制度「鑄造技士 (Foundry Expert)」は、2024 年度で 1,359 名を認定するに至った。この鑄造技士の技術のさらなる向上とネットワークの維持強化を図るための組織として、鑄造カレッジの 7 つの開催地区ごとに鑄造技士会を設立している。2024 年度の各地区鑄造技士会活動は下記のとおり。

【東海鑄造技士会】

技術交流会・技士討論会 2024 年 7 月 5 日 (金)

【中国四国鑄造技士会】

技士会総会・講演会・交流会 2024 年 4 月 17 日 (水)

工場見学会 2024 年 11 月 20 日 (水) ~21 日 (木)

【北海道鑄造技士会】

講演会・工場見学 2025 年 3 月 14 日 (金)

【関西鑄造技士会】

講演会 2025 年 3 月 14 日 (金)

1 2. 標準化に関する事項

(1) 標準化委員会 (委員長 清水 一道)

JIS 及び ISO に関する審議を行った。

1) 全体会議

① 第 1 回 2024 年 11 月 19 日 (火) Web

② 第 2 回 2024 年 12 月 27 日 (金) ~2025 年 1 月 20 日 (金) 書面審議

2) 「新 JIS 耐摩耗鑄鉄品」原案作成 (新 JIS 原案作成準備委員会)

原案掲載用の技術データ取得とその進捗の確認を行った。

なお、2025 年 1 月からは原案作成委員会を立ち上げ、審議を再開した。

① 第 10 回 2024 年 5 月 26 日 (日) 於 早稲田大学

② 臨時 2024 年 10 月 16 日 (水) Web

③ 第 11 回 2024 年 10 月 27 日 (日) 於 富山市

④ 第 12 回 2025 年 1 月 14 日 (月) Web

⑤ 第 13 回 2025 年 2 月 12 日 (水) Web

3) 「JIS G 5903 鑄鉄製又は鑄鋼製のショット及びグリット」

2024 年 2 月に日本規格協会に納品した改正原案に対し、追加修正を行った。

本改正 JIS は 2024 年 11 月 20 日に告示された。

【分科会】

第 5 回 2024 年 4 月 15 日 (月) Web

【委員会】

第 3 回 2024 年 4 月 19 日 (金) ~5 月 9 日 (木) 書面審議

4) 「JIS H 5120 銅および銅合金鑄物」

銅合金技術委員会（第 3 回、第 4 回）にて、一部銅合金鋳物の残余成分に関する見直しを検討中。2025 年度に原案作成委員会を設置予定。

5) 「銅合金のエロージョン・コロージョン試験」に関する件

銅合金に係る上記 JIS 原案作成委員会に、銅合金技術委員会から事務局を含む 2 名の委員が参加した。

6) 「JIS G 0417 鉄及び鋼－化学成分定量用試料の採取及び調整」の原案作成支援（注：原案作成団体は日本鉄鋼連盟）

鋳鉄品製造者への不利益が生じないよう鋳鉄関連部分の原案を作成した。

第 1 回 2024 年 5 月 31 日（金）～6 月 17 日（月）書面審議

(2) ISO/TC25 国内審議委員会（委員長 浅野 和典）

ISO/TC25 の規格改定等に関する審議を行った。

- ① ISO 1083:2018 (Ed2) に対して、2024 年 9 月 5 日に中国より FCD900-2 相当材の規格変更提案があった(欧州委員からは Reject の回答あり)。国内審議委員会の議論では、日本は改正反対の立場を確認した。

規格名 Spheroidal graphite cast irons — Classification

対応 JIS 規格 … JIS G 5502:2022 「球状黒鉛鋳鉄品」

- ② ISO945-1 : Microstructure of cast irons

—Part 1:Graphite classification by visual analysis

ISO 945-4:2019 : Microstructure of cast irons

—Part 4: Test method for evaluating nodularity in spheroidal
graphite cast irons

5 年毎の見直し依頼があり、2024 年 4 月 18 日（木）～6 月末日まで書類審議のうえ、変更なしで回答した。

- ③ ISO5922:2005 Malleable cast iron に対して、2024 年 10 月 15 日に 5 年毎の確認依頼があった。金属接手協会に意見照会し、3 月に変更なしで回答した。

- ④ 第 35 回 ISO / TC 25 鋳鉄 & 銑鉄の全体会議

国内審議委員会：2024 年 11 月 22 日（金）Web

国際会議（ロンドン）：2024 年 11 月 27 日（水）Web

日本より浅野委員長他が参加し、TC261/JG77 との Liaison 報告として、日本提案の AM 砂型(ISO59191)の原案作成状況を説明。来年の国際会議でも進捗を報告する。

新 JIS 制定中の耐摩耗鋳鉄品の ISO21988:2006 に対して成分範囲の変更などの提案があった。提案は、鋳鋼の範囲まで含むなど問題があるが、WG が立ち上がる公算が高い。

- ⑤ 国内審議委員会：2024 年 12 月 27 日(金)～2025 年 1 月 24 日(金) 書面審議

※このほか、他団体主催の TC25 に関連する以下 ISO 国内審議委員会へオブザーバー参加している。

・ ISO/TC213 国内審議委員会（主催：（一財）日本規格協会）

ISO/TC213 グループ A 国内委員会及び JIS 素案作成準備委員会

- ・ ISO/TC261 国内審議委員会（主催 TRAFAM）
AM 砂型に関する ISO 規格原案作成委員会にも参画
- ・ ISO/TMB/SAG_Critical Minerals 国内委員会

1 3. 設備・原材料等に関する事項

- (1) ISO/TC306 国内審議委員会（委員長 平田 実）
ISO/TC306（鑄造機械規格）の国際規格制定等に関する審議を行った。
 - ① 2024 年 6 月 12 日（水）国内審議委員会 Web
 - ② 2024 年 8 月 8 日（木）国内審議委員会 Web
- (2) ISO/TC306 国際会議
2024 年 10 月 31 日（木）国際総会（ハイブリッド）
- (3) 展示会の検討
機材部会及び設備・資材委員会において、展示会の開催について検討し、機材部会及び設備・資材委員会のメンバーに対して展示会開催に関するアンケート調査を複数回に渡って実施した。結論としては、2026 年 9 月開催に向けて実行委員会を設置し、開催準備を行うこととした。

1 4. 国際交流に関する事項

- (1) 国際会議・海外セミナー等への参加
 - ① 海外協会との交流、会議
2024 年 7 月 4 日（木）～7 日（日）メタルチャイナ上海（ビデオ録画参加）
2024 年 9 月 18 日（水）～20 日（金）AFA 国際総会（バンコク）
 - ② 世界精密鑄造会議（WCIC）、国際精密鑄造セミナー（ISIC）等精密鑄造関係 WCIC/ ISIC 実行委員会（委員長 関 公彦）
精密鑄造国際企画委員会（委員長 木塚 勝典）
2024 年 5 月 12 日（日）～15 日（水）EICF ナポリ大会 対面
2024 年 7 月 10 日（水）第 13 回 WCIC/ISCI 実行委員会 対面
2024 年 8 月 27 日（火）第 9 回精密鑄造国際委員会・第 14 回 WCIC/ISIC 実行委員会 対面
2024 年 10 月 20 日（日）～23 日（水）ICI ミルウォーキー大会 対面
2024 年 11 月 11 日（月）第 15 回 WCIC/ISCI 実行委員会 ハイブリッド
2025 年 2 月 5 日（水）第 10 回精密鑄造国際委員会・第 16 回 WCIC/ISIC 実行委員会 ハイブリッド
 - ③ YPP（Young Professional Program）委員会（委員長 高橋 健太郎）
YPP 日本大会開催後の総括の委員会を開催
2024 年 5 月 14 日（火）草野産業(株) 会議室 ハイブリッド
 - ④ タイ鑄造工場視察団の派遣
2024 年 11 月 25 日（月）～12 月 1 日（日）
22 名（17 社）の参加者を得て実施した。

視察先：KOMATSU、アイシン高丘（ATFB）、サイアムトヨタ、
キャステムサイアム、ヤマモトファンドリータイ

⑤ 海外協会との交流

・台湾鑄造学会

2024 年 9 月 9 日（月）～12 日（木）

受入企業：明石合銅、石川可鍛製鉄、能作、金森メタル、田島軽金属、
栗田工業（大東工場）、木村鑄造所（御前崎製造所）

・ドイツ鑄造協会

2024 年 10 月 5 日（土）～13 日（日）

受入企業：鶴見製作所米子事業所（造型研究所）、ダイハツメタル（出雲工場）、
栗本鐵工所（加賀屋工場）、木村鑄造所（御前崎製造所）、
ヤマハ発動機（本社工場）、リョービ（静岡工場）

1 5. 労働安全衛生に関する事項

鑄造業における安全衛生対策の推進のため、リスクアセスメントの普及活動として、4 団体合同で研修会を開催した（詳細は、前掲「V. 1.（6）安全衛生対策セミナー」を参照）。

1 6. 表彰に関する事項

日本鑄造協会の協会賞として、2023 年 12 月に協会功労賞、経営改善賞、技術賞、技術開発賞の募集を行い、3 月に選考を行った。

2023（令和 5）年度に決定した下記受賞者の表彰式を 2024 年 5 月の春季大会において行い、表彰状・記念品等を贈呈した。

【協会功労賞】

村瀬 充 氏（北海道銑鉄鑄物工業組合）

橋本 実 氏（前橋橋本合金株式会社）

伊藤 幸司 氏（株式会社伊藤鑄造鉄工所）

堀口 幹夫 氏（株式会社堀口鑄工所）

大和田 芳郎 氏（株式会社トウチュウ）

多賀谷 泰三 氏（三井ミーハナイト・メタル株式会社）

奈部 和弘 氏（富山県鑄物工業協同組合）

南野 隆弘 氏（大阪鑄鉄工業組合）

宮脇 成志 氏（大阪特殊合金株式会社）

大田 喜穂 氏（広島県鑄物工業協同組合）

小林 敏彦 氏（福山地方鑄造工業協同組合）

【技術賞】

駒木 博 氏（株式会社田島軽金属）

川島 浩一 氏（株式会社マツバラ）

日比 智基 氏（株式会社マツバラ）

17. 会員の叙勲・褒章の受章候補者の推薦ならびに申請

2026 年度以降における会員企業の叙勲（含叙位）候補者を経済産業省に登録した。

18. 広報、普及啓蒙及び情報資料の提供に関する事項

（1）機関誌編集委員会（委員長 紺野 敏之）・「鑄造ジャーナル」の発行

「鑄造ジャーナル」を企画・編集する機関誌編集委員会を開催し、毎月年 12 回発行した。また、各月の掲載内容が分かるよう協会ホームページに鑄造ジャーナルの目次を掲載した。

- ① 2024 年 4 月 9 日（火）機械振興会館
- ② 2024 年 5 月 9 日（木）機械振興会館
- ③ 2024 年 6 月 7 日（金）機械振興会館
- ④ 2024 年 7 月 18 日（木）西条市 愛媛県鋳鉄鑄物工業組合
(18～19 日 西条市 8 社工場視察)
- ⑤ 2024 年 8 月 8 日（木）機械振興会館
- ⑥ 2024 年 9 月 9 日（月）機械振興会館
- ⑦ 2024 年 10 月 9 日（水）機械振興会館
- ⑧ 2024 年 11 月 8 日（金）機械振興会館
- ⑨ 2024 年 12 月 6 日（金）機械振興会館
- ⑩ 2025 年 1 月 8 日（水）機械振興会館
- ⑪ 2025 年 2 月 7 日（金）機械振興会館
- ⑫ 2025 年 3 月 6 日（木）機械振興会館

（2）協会ホームページによる情報提供

協会ホームページの会員専用ページと E メールを活用し、各種情報の迅速な提供を行い情報発信の強化を行った。

（3）最近の鑄造業界動向の発行

本会の四半期調査や鑄造に関連する公的統計から鑄造業界に関する動向をまとめた「最近の鑄造業界動向」を毎月計 12 回発行した。

（4）その他広報事業

- ① 新聞・雑誌等への取材協力を行った。
- ② 需要業界における各種調査研究資料の収集と提供を行った。
- ③ 経済産業省等関係官庁からの公報・情報収集活動と会員への提供を行った。
- ④ その他、業界発展のための広報・情報活動を行った。

（5）普及啓蒙事業

- ① 経営、技術及び海外情報に関する相談業務
- ② 新技術開発・新製品開発に関する紹介

（6）その他情報の提供

- ① 法律、制度、経営、技術及び労働に関する情報の提供
- ② 会員（賛助会員を含む）に関する情報の提供

③ 内外の関係情報の提供

19. 創立 20 周年記念事業に関する事項

2025 年 7 月 1 日に創立 20 周年を迎えるため、創立 20 周年記念事業の検討・企画・運営を行う創立 20 周年記念事業実行委員会及び記念式典・祝賀会 WG、記念誌・ジャーナル WG を総務部会傘下に発足し、検討を行った。

創立 20 周年記念式典・祝賀会は 2026 年新年賀詞交歓会を兼ねて 2026 年 1 月 29 日（木）に開催するとともに、20 周年記念誌発行及び鑄造ジャーナル特集を企画することとした。創立 20 周年記念式典等の具体的な内容や、その他の記念事業について 2025 年度も引き続き検討する。

（1）創立 20 周年記念事業実行委員会（委員長 佐藤 孝造）

- ①第 1 回 2024 年 10 月 23 日（水）機械振興会館
- ②第 2 回 2024 年 12 月 20 日（金）ハイブリッド
- ③第 3 回 2025 年 3 月 10 日（月）ハイブリッド

（2）創立 20 周年記念式典・祝賀会 WG（リーダー 永森 久之）

- ①第 1 回 2024 年 12 月 2 日（月）Web
- ②第 2 回 2025 年 2 月 3 日（月）Web
- ③第 3 回 2025 年 3 月 5 日（水）Web

（3）創立 20 周年記念誌・ジャーナル WG（リーダー 紺野 敏之）

- ①第 1 回 2024 年 12 月 11 日（水）Web
- ②第 2 回 2025 年 1 月 28 日（火）Web
- ③第 3 回 2025 年 3 月 4 日（火）Web

20. 会員の催物に対する協力及び協賛に関する事項

- （1）経営、技術、労務関係、教育図書、視聴覚教育資料等の斡旋
- （2）工場視察及び見学会の斡旋
- （3）記念行事、催物における表彰状若しくは感謝状の授与
- （4）会員主催の行事、催物等への協賛及び参加

21. 諸規程類の整備・充実に関する事項

法令改正等に伴い、以下の規程を制定、改正又は廃止を行った。

- ① ISO/TC 国内審議委員会運営規約（TC25 及び TC306）の制定
- ② 育児休業規程及び介護休業等規程をするとともに、これらに代わる育児・介護休業等に関する規程の制定
- ③ 育児・介護休業等に関する規程の制定に伴う就業規則の改正
- ④ 若手経営者全国大会の名称変更に伴う若手経営者全国大会運営基金運用規程の改正

2 2. その他本協会の目的を達成するために必要な事項

以上の他、定款の目的に沿った各種事業を行った。

VI. 支部・地域活動、地方組織に関する事項

1. 東海支部（支部長 竹内 浩二）

（1）総会 2024 年 4 月 11 日（木）ウインクあいち

講演会（総会に合わせて開催）

①楽しくなければ仕事じゃない！～非常識な経営手法が企業と人を変える～

講師 HILLTOP(株) 相談役 山本 昌作

②鋳造 CN 活動とバイオ成型炭の開発取り組み状況

～'35 年 CN 達成に向けた取り組みとキュボラ用バイオ成型炭の開発～

講師 アイシン高丘(株) チームリーダー 八幡 一義

Executive Adviser 岡村 富雄

宮崎 剛匡

（2）工場見学会

①【地区外：埼玉地区】

日程 2024 年 7 月 18 日（木）～19 日（金）

工場見学先 大和合金(株)（埼玉県入間郡）

(株)椿本鋳工（埼玉県飯能市）

(株)田島軽金属（埼玉県羽生市）

(株)ハイキャスト（埼玉県羽生市）

参加者数 25 名

②【地区内：愛知・静岡地区】（鋳造工学会事業に協賛）

日程 2024 年 10 月 18 日（金）

愛知コース工場見学先 (株)アイシン、(株)エクセディ

参加者数 17 名

静岡コース工場見学先 新東工業(株)、浜北工業(株)

参加者数 21 名

（3）講習会（鋳造工学会事業に協賛）

会場：刈谷シャインズ（現地＋リモートのハイブリッド形式）

①鋳鉄の基礎講座

日程 2024 年 6 月 29 日（土）

参加者数：82 名（現地：28 名、Web：54 名）

②鋳鉄の中級講座

日程 2024 年 9 月 7 日（土）

参加者数：27 名（現地：10 名、Web：17 名）

③アルミニウム鋳造講座 I

日程 2024 年 7 月 27 日（土）

参加者数：80 名（現地：45 名、Web：35 名）

④アルミニウム鑄造講座Ⅱ

日程 2024 年 8 月 22 日（木）

参加者数：60 名（現地：21 名、Web：39 名）

⑤アルミニウム鑄造講座Ⅲ

日程 2024 年 9 月 14 日（土）

参加者数：43 名（現地：19 名、Web：24 名）

⑥鑄造技術講習会

日程 2024 年 10 月 17 日（木）

参加者数：59 名（現地：20 名、Web：39 名）

（4）役員会、本部報告会

① 前期 日時 2024 年 4 月 11 日（木）

会場 ウィンクあいち

② 後期 日時 2025 年 2 月 14 日（金）

会場 ウィンクあいち

2. 北陸支部（支部長 山本 洋）

（1）総会 2024 年 4 月 19 日（金） ホテルニューオータニ高岡

（2）講演会・技術講習会

① 技術講習会

※2024 年度全国講演富山大会準備期間のため中止

② 鑄造初級講座（鑄造工学会北陸支部と共催）

日時 2024 年 8 月 1 日（木）～2 日（金）

会場 座学 石川県千葉産業振興センター

工場見学（株）明石合銅

③ 現場改善事例発表会（鑄造工学会北陸支部と共催）

日時 2025 年 2 月 27 日（木）

会場 Web 開催

④ 鑄造技術講座（鑄造工学会北陸支部、北陸鑄造技士会と共催）

※2024 年度全国講演富山大会準備期間のため中止

（3）工場見学会（鑄造工学会北陸支部と共催）

※2024 年度全国講演富山大会準備期間のため中止

（4）役員会、本部報告会

① 前期 日時 2024 年 4 月 19 日（金）

会場 ホテルニューオータニ高岡

② 後期 日時 2025 年 3 月 4 日（火）

会場 金沢市「寿司若」

3. 中国四国支部（支部長 藤原 慎二）

（1）総会 2024 年 4 月 9 日（火） 広島ガーデンパレス 参加者：67 名

講演会「取引適正化に関する政府の取組、今後の見通し」

講師 中小企業庁 事業環境取引課 課長 鮫島 大幸

(2) 秋季講演会

2024 年 11 月 21 日 (木) 福山ニューキャッスルホテル 参加者：80 名

講演会「がんばれ！日本のものづくり！～日本の産業化の歴史と我が国の EV
化による影響やエネルギーミックスの今後の展望～」

講師 元内閣官房参与 加藤 康子

(3) 理事会

第 1 回 2024 年 4 月 9 日 (火) 広島ガーデンパレス

第 2 回 2024 年 7 月 30 日 (火) 広島県鋳物工業協同組合

第 3 回 2024 年 11 月 21 日 (木) 福山ニューキャッスルホテル

第 4 回 2025 年 2 月 13 日 (木) 広島県鋳物工業協同組合

(4) 教育事業

- ・中国四国地区鋳造基礎講座

講義：2024 年 10 月 18 日 (金) ～12 月 14 日 (土) の 6 日間

対面講座：20 コマ、受講者：26 名

(5) 中国四国地区鋳造技士会活動支援

- ・鋳造技士会総会・講演会

2024 年 4 月 17 日 (水) 広島県鋳物工業協同組合 参加者：16 名

- ・鋳造技士会工場見学会

2024 年 11 月 20 日 (水) ～21 日 (木)

① 川崎重工(株)明石工場・西神戸工場

② 虹技(株)姫路東工場・西工場

参加者：26 名

VII. 関係官庁等への協力に関する事項

1. 適正取引推進のための各種委員会への委員推薦・出席

(1) 自動車取引適正化研究会（藤原会長が委員）

前掲の V. 3. (1) ②の「自動車取引適正化研究会」を参照

(2) 素形材取引適正化委員会（藤原会長が委員）

前掲の V. 3. (1) ①の「素形材取引適正化委員会」を参照

(3) 素形材産業ビジョン策定委員会（木村協会役員が委員）

前掲の V. 3. (1) ⑨の「素形材産業ビジョン策定委員会」を参照

(4) 素形材月間推進協議会（鈴木専務理事が委員）

第 30 回素形材月間の記念事業を企画・運営する委員会を経済産業省が設置し、記念事業の企画・運営に協力した。具体的には、①素形材経営賞の創設、②展示会への出展（サーマルテクノロジー展@大阪、JIMTOF@東京ビックサイト、ダイカスト展@パシフィコ横浜）など

- 第1回 2024年7月23日（火）経済産業省
- 第2回 2024年8月29日（木）経済産業省
- 第3回 2024年9月25日（水）経済産業省
- 第4回 2024年10月21日（月）経済産業省
- 第5回 2024年12月9日（月）経済産業省

2. 中央能力開発協会への技能検定委員推薦、技能検定の型の斡旋

(1) 中央技能検定委員の推薦

鑄造に関わる各種作業の検定委員を推薦した。

(2) 型の斡旋

技能検定実技試験模型（鑄造1級、鑄造2級（含随時）、鑄造3級（含随時））の作製を斡旋した（17件 計31型）。

3. 「中小企業経営強化法」関連の証明書発行

中小企業等経営強化法の設備に係る仕様等証明書を発行した（48件・2/18）。

VIII. 関係団体との交流に関する事項

1. 素形材団体交流委員会

素形材に関する交流促進や普及啓発を議論し実施する場として、（一財）素形材センターが主催する素形材団体交流委員会に鈴木専務理事が委員長として出席した。

2. 素形材産業優良従業員表彰委員会

（一財）素形材センターが主催する素形材産業優良従業員表彰委員会に、鈴木専務理事が委員として出席した。

3. 鑄物関連団体への協力

- (1) （公社）日本鑄造工学会の講演大会、各支部におけるセミナー、工場見学会を後援
- (2) （一財）素形材センターの素形材月間事業（11月）への後援
- (3) 島根県鑄造関連産業振興協議会総会（7月11日・松江市）に藤原会長及び鈴木専務理事が出席し、本会の活動概要等を報告した。
- (4) 素形材団体等が実施する事業への後援等

IX. 会員及び組織に関する事項

1. 組織拡充強化に関する事項

- (1) 未加入の企業、組合員の正会員への加入を促進した（5社加入）。
- (2) 本協会の目的・事業に協力いただく賛助会員の加入を促進した（2社加入）。

2. 会員及び組織に関する事項

(1) 正会員及び賛助会員 (2025 年 3 月 31 日現在)

① 法人正会員 338 社

② 団体正会員 32 組合 (443 社)

③ 賛助会員 48 社

(2) 理事・監事・協会役員・顧問・参与名簿 (別紙 1 参照)

(3) 協会事業運営組織図 (別紙 2 参照)

(4) 部会委員・支部長名簿 (別紙 3 参照)

(5) 協会事務局組織図 (別紙 4 参照)

(6) 協会活動状況一覧表 (別紙 5 参照)